



# コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館  
 (指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) TEL : 0220-55-2124  
 FAX : 0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



## 吉田コミュニティ運営協議会 菅原直行会長あいさつ

令和5年度定期総会で会長に再任されました。心新たにコミュニティ組織活動を推進してまいりたいと存じますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

吉田地区では少子高齢化が進展し、この5年間で人口が350人減少してとうとう3千人を割り込んでしまいました。令和3年度末に米山東幼稚園が廃園となり、令和7年度末には米山東小学校は閉校して、現在の総合支所地内に米山小学校が開校する予定です。今後ますます人口が減少し、高齢者の独居世帯が増加することが予想されます。

公民館活動やコミュニティ活動を通して地域課題解決の一助となるよう役職員一同努めてまいりますので、地区民の皆様にはコミュニティ運営協議会事業への参加・参画をお願い申し上げます。

## 吉田コミュニティ運営協議会理事会・総会開催

令和5年度の、理事会が5月23日午後3時から、総会が5月26日午後6時30分からそれぞれ開催されました。議題は令和4年度事業報告と決算の承認、令和5年度事業計画と予算の承認、役員改選でしたが、満場一致で議決されたことを報告いたします。

役員は下表のとおり決定しましたので、よろしくお願いいたします。

会長	菅原直行 (鈴根) 再任	
副会長	佐藤昌彦 (森腰) 再任	仙崎金兵 (畑崎) 新任
常務理事	伊藤啓基 (中塚) 新任	
理事	櫻田芳範 (狐崎) 再任	福田了喜 (新田) 再任
	主藤久義 (鈴根) 再任	主藤敏寛 (江浪) 再任
	千葉繁憲 (大又) 再任	小野寺登 (相ノ山) 再任
	島陰久雄 (今泉) 新任	佐々木嘉洋 (貝待井) 新任
	久住成夫 (永沢) 再任	小和田善郎 (森腰) 再任
	伊藤俊一 (中新田) 再任	鈴木敬一 (朝来) 再任
	橋浦義一 (山吉田) 再任	男澤雄一 (町吉田) 再任
	畑岡邦義 (畑崎) 新任	岩渕昌隆 (中新田) 再任
	岡崎清輝 (朝来) 再任	
監事	菅野 誠 (森腰) 再任	菅原賢昭 (狐崎) 再任
	海野慶治 (貝待井) 再任	

### コミュニティの主要行事

8月16日(水) 盆踊り大会 9月3日(日) 運動会  
 11月4日・5日 よねやま秋祭り 1月13日(土) 新春交歓会  
 2月18日(日) 世代間交流レクリエーション大会  
 多くの皆様のご参加をお待ちしております。

裏面もご覧ください →

## 春の歩け歩け大会 開催

毎年恒例となっている、米山町内3つのコミュニティ運営協議会合同の、春の歩け歩け大会を平筒沼周辺で開催。今回は56名の参加があり、平筒沼の遊歩道をゆっくり歩きました。参加者からは「風が強かったけど良い運動になりました。」「自然がとてもきれいでした。」と好評でした。残念ながら浮棧橋は渡れなかったため、外周を一周するコースに変更しましたが、皆さん満足して帰られました。



## 令和5年度公民館事業いよいよスタート！！ 吉田先人大学運営委員会 開催



5月19日（金）に吉田先人大学の各行政区の運営委員さんに出席していただき、運営委員会を開催。今年度の事業計画について話し合いました。

第1回学習会並びに開級式は6月14日（水）に2部構成で行います。第1部は、講師に明治安田生命の新海祐太氏を迎え、「“相続”と“争族”についてのおはなし」と題し講演会、第2部では、毎年学級生から大人気の株式会社マルシンの薄井愛氏を講師に迎え「椅子に座ったままでできる健康体操」を教えてください。

まだ、先人大学に入っていない方、この機会に参加してみたい方が多いのではないでしょうか。

## JAみやぎ登米米山支部女性部と合同で花壇の除草作業



今年も5月25日に平筒沼 YOUYOU 館入口の花壇の草取りを、JAみやぎ登米・米山支部女性部の方々と行いました。

6月2日には、マリーゴールド、日々草やサルビア等の花々で色鮮やかな花壇に生まれ変わります。どの花も開花時期が長く、多くの方々を楽しませてくれるでしょう。是非、平筒沼においての際には、YOUYOU館入口の花壇で心を癒してみたい方が多いのではないでしょうか。



## 館長の戯言（ざれごと）No.19 「きゃっぱり」（参考図書：とうほく方言の泉）

前回「きゃっぱり」の語源がわからずに「きゃほず」を記しましたが、「きゃっぱり」のことがずうっと気になっていました。ネットで調べると「かっぱり」「きゃっぱり」という地域があることがわかり、そこから妄想を膨らませてみました。「きゃっぱり」の「きゃっ」は元々「か」のつく水に関係した語で「川」、「ぱり」は「ぱり」が変化したもの、「ぱり」は「入り（はいり）」の方言「ひやり」「びやり」「ぱり」と考えると「川入り（かわはいり）」が語源ではないかと推理しました。先日、河北新報出版センター発行の「とうほく方言の泉」で調べ物をしていたところ、何と「かっぱり（川にはまる）うっかりして川入り」が載っていたのです。推理的中でした。実はこの本の索引を見て「きゃっぱり」が載っていなかったのがあきらめていたのです。同書には「かわぱり、かわっぱり、かっぱり、けあっぱり、かっぱりとった、かっぱとった」など、東北各地で様々に使われている方言でした。